

令和 8 年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科		科目		単位数	履修上の留意点		
保健体育		体育1		3	必修科目		
指導目標	運動の合理的，計画的な実践を通して，知識を深めるとともに技能を高め，運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし，自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て，公正，協力，責任，参画などに対する意欲を高め，健康・安全を確保して，生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。						
教科書				副教材等		添削指導	面接指導
現代高等保健体育改訂版（大修館書店）						3回	15単位時間
多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無			☐	実施している	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数		該当なし
			☒	実施していない			
添削指導（レポート）							
回	学習内容					対応する 面接指導の回	提出期限
1	・スポーツがどのように始まったのかを説明できる。 ・なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる。 ・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明できる。 ・多様なかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明できる。					1,3	5月13日
2	・オリンピズムとオリンピックの価値について説明できる。 ・パラリンピックの価値について具体例をあげながら，パラリンピックの意義について説明できる。 ・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを説明できる。 ・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明できる。					5,7	8月8日
3	・スポーツの高潔さを脅かす要因について例をあげて説明できる。 ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる。 ・スポーツにおける環境問題について例をあげて説明できる。 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明できる。					10,13	12月5日
面接指導(スクーリング)							
回	単位時間	学習内容				実施場所	実施日
1		スポーツの始まりと変遷 ・体育を始めるにあたってスポーツの歴史，始まりについて学ぶ。				各学習センター	4 月
2		体育実技指導 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせるとともに，健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身に付けさせる。				各学習センター	5 月
3		文化としてのスポーツ ・我が国から世界に普及し，発展しているスポーツがあり，日本の文化の発信に貢献していることについて学ぶ。				各学習センター	5 月
4		体育実技指導 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせるとともに，健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身に付けさせる。				各学習センター	6 月
5		オリンピックとパラリンピックの意義 ・オリンピック，パラリンピックの意義や課題について学ぶ。				各学習センター	6 月
6		体育実技指導 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせるとともに，健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身に付けさせる。				各学習センター	7 月

7	スポーツが経済に及ぼす効果 ・スポーツが経済にどのような影響を及ぼすかについて学ぶ。	各学習センター	8月
8	体育実技指導 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせるとともに、健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身に付けさせる。	各学習センター	9月
9	体育実技指導 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせるとともに、健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身に付けさせる。	各学習センター	10月
10	スポーツの高潔さとドーピング ・オリンピックとドーピングの関連について倫理観を持って学ぶ。 ・スポーツと環境保護について学ぶ	各学習センター	10月
11	体育実技指導 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせるとともに、健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身に付けさせる。	各学習センター	11月
12	体育実技指導 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせるとともに、健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身に付けさせる。	各学習センター	11月
13	スポーツと環境 ・スポーツを行う際の、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組について学ぶ。	各学習センター	12月
14	体育実技指導 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせるとともに、健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身に付けさせる。	各学習センター	12月
15	体育実技指導 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせるとともに、健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身に付けさせる。	各学習センター	1月
多様なメディアを利用した学習			
計画段階では実施予定なし			
試験			
回数	試験範囲	実施場所	実施日
1	実技評価を試験に代わる方法として位置付ける。	各学習センター	
2	実技評価を試験に代わる方法として位置付ける。	各学習センター	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
添削指導、面接指導、実技の結果を総合的に評価する。			
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、実技評価を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。			
その他			
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。			